

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290100795		
法人名	株式会社かすみコーポレーション		
事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム意宇の燈		
所在地	島根県松江市八雲町東岩坂77-3		
自己評価作成日	令和7年3月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/32/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3290100795-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 保健情報サービス		
所在地	鳥取県米子市米原2丁目7番7号		
訪問調査日	令和7年3月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所のハード面の特色として、畑付きの前庭があり、ご入居時に御家族様に説明・同意を得た上で、日中の時間帯において、正面玄関を開放させていただき、敷地において自由に出入りいただいています(職員が適宜見守り・所在把握をさせていただいています)。また、前庭にて、お客様・職員と一緒に歌を歌ったり、レクをしたり、畑で作物を植えたり収穫する等の活動を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

令和2年4月に開設された2ユニット18名のグループホームです。開設時期がコロナ禍になり、地域との交流や利用者の外出、家族の面会も制限がありましたが、5類移行後は地域の催し物や公民館祭にも、徐々に利用者の方も参加される機会が増えてきています。ホームの前庭が広くお天気の良い日には、職員が見守られ、自由に外気に触れ、プランターでの野菜栽培の世話や下校時の子ども達と挨拶を交わしたり、職員と一緒に歌を歌ったり、レクをしたり、野菜の収穫も行われ季節を感じられるよう日常的に過ごされています。食事も楽しめるようできるだけ手作りで提供され、食事の準備や片付けも職員と一緒にできる方は行っておられ、料理を準備する音や匂いを感じ、家庭的な雰囲気の中過ごして頂けるよう努めておられます。また、看護師が職員として3名配置されており、健康面でも利用者・家族の安心につながるよう図られています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を作成し、毎月のミーティングで唱和。実践に繋げている。	法人内でスマイルプロジェクト委員会を設置されており、委員を中心に月間目標を決められ、毎月のユニット会議に於いても振り返りを行ない、理念の共有をされ、実践へつながるよう努めておられます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍でなかなか外部との交流が出来ない状況にある。	近くには集合住宅、新しい住宅が多く、下校時の子ども達と挨拶を交わしておられます。また、再開された地域の催し物に参加したり、公民館祭に利用者の方が作られた作品を展示されました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍でなかなか外部との交流が出来ない状況にある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍でなかなか外部との交流が出来ない状況にある。その為、運営推進会議として集まることは出来ていないが、意見用紙にて、ご意見を頂戴し、サービス向上に繋げている。	現在、コロナ5類移行は対面で開催されており、公民館長、社会福祉協議会、利用者家族、市役所職員、地域包括センター職員が委員として参加され、事業報告等を行ない情報共有し、意見も頂きサービス向上に活かせるよう図られています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に松江市介護保険課様にご参加いただくとともに、相談・連絡・報告を行い、連携を図らせていただいている。	運営推進会議には松江市介護保険課、地域包括センター職員にも参加頂き情報交換が行われています。また、相談・連絡・報告を行い、連携を図っておられます。	介護相談員制度も、感染症の発生状況を考慮されながら、活用される事も検討されても良いと思います。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設の特徴として前庭があり、全ての御家族様にご入居時に同意を得た上で、荒天の日を除き、随時玄関を開放し、お客様に自由に行き来いただいている。また、身体拘束の内容について、職員に周知している。	定期的に法人内のグループホームで合同で身体拘束廃止委員会が開かれています。施設の特徴として前庭があり、全ての家族様に入居時に同意を得た上で、天気の良い日は、職員が見守り玄関を開放し、利用者は自由に行き来されています。また、身体拘束についての理解を深めるための研修も行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者含め、職員は虐待を見過ごすことのないようにしている。	虐待防止委員会も同様に二つのグループホームで合同で相互に開かれています。管理者含め、職員は虐待を見過ごすことのないように心掛け、ミーティング等の際に研修も行われています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	過去に日常生活自立支援事業・成年後見制度の研修に参加している。その他、一部職員も制度概要について理解しているが、全職員が理解しているとは言えない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約・改定時は十分に説明を行い、理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表様にご参加いただき、ご意見を頂戴している。また、他の御家族様からも随時ご意見を頂戴している。	利用者からは日々の会話から意見を聞かれています。家族からは運営推進会議に参加された際に意見を聞かれたり、面会時、プラン変更時、年1回の家族会の際にも意見・要望を伺われています。毎月利用者のホームでの様子が分かるようお便りも担当が送られ、信頼関係が築けるよう配慮されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	委員会やミーティングその他、随時職員の意見・提案を聴く機会を設け、運営に反映させている。	スマイルプロジェクト委員会やミーティング、ユニット毎の会議等で、日頃から各ユニットリーダーを中心に職員からの意見・提案を聴かれており、管理者に報告され、運営に反映できるよう図られています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	左記のように、職員各自が向上心を持って業務に当たれるよう、職場環境・条件の整備に努めている。	法人の取組みとして、職員各自が向上心を持って業務に当たれるよう、就業規則によるキャリアアップ体制が構築されており、職場環境・条件の整備に努めておられます。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	左記のように、職員個々の資質向上の取り組みを行っている。	評価シートを活用され、職員面談が行われ職員一人ひとりの評価が行われ、研修希望の聞き取り、資格取得の斡旋も行われています。法人内外の研修を受ける機会の確保や、職員個々の資質向上取組みが行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍であり、なかなか外部との交流が難しいが、研修等、ネットワーク・情報交換の場作りは以前から提案されている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の困りごと・不安な事を解消するよう努め、関係づくりを図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の困りごと・不安な事を解消するよう努め、関係づくりを図っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・御家族様の必要とされる支援について、随時対応できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	主役はお客様であり、職員はサポートする側との意識を持って支援に当たっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様とともに本人様を支える意識を持ち、協力しながら本人様を支える関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍であり、なかなか外部との交流が難しいが、窓越しでの面会とさせていただく等、御家族様・知人等との関係が途切れないよう配慮している。	現在は居室内での面会も可能になっており、家族との関係が途切れないよう配慮されおられます。	外出が難しい時は写真や手紙などから思い出話をして頂き、回想法につなげて行かれることもよりと思います。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関係性を把握し、良好な関係性が築けるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、必要に応じてご相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の生活歴の把握に努め、出来る限り本人様の意向に沿った暮らしをご提案できるよう努めている。	意思疎通のできる方多いので、日々の会話の中や生活歴の把握に努め、出来る限り本人の意向に沿った暮らしをご提案できるよう努めておられます。	思いや意向から長生きをするための目標や生きがいにつながりがあると良いと思います。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様の生活歴の把握に努め、出来る限り本人様の意向に沿った暮らしをご提案できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の過ごし方、心身状態・有する能力の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にミニカンファレンスを行い、情報収集・共有に努め、本人様の現状に即したプラン作成に努めている。	3ヶ月に1回ミニカンファレンス、半年に1回評価・見直しを行ない、必要時には随時見直しが行われています。部屋担当を中心にモニタリングを行ない、他の職員からも意見を聞き、本人・家族の意向を確認され、計画作成者がプランを作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	左記のように、日々の様子をできるだけ詳しく記録に残し、本人様の支援に反映させている。	記録は手書きで行なわれており、申し送りノートも活用し情報共有が行われています。ケアプランを作成するための重要なことと意識し、日々の様子をできるだけ詳しく記録に残し、本人の支援に反映されています。	ITCの導入等、職員の業務の負担軽減につながる生産性向上委員会の設置も検討下さい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	対応可能な範囲での柔軟なサービス提供に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、本人様がより良い暮らしができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様・御家族様の意向を踏まえ、主治医との連携に努めている。	本人・家族の意向を踏まえ、往診のある協力医をかかりつけ医にされている方が殆どです。歯科医の往診もあります。内科以外の他科受診は基本的には家族にお願いされていますが、難しい場合にはホームで対応されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	左記のように、介護職・看護職間で情報共有に努め、本人様のより良い支援に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報共有に努め、円滑に入退院支援が出来るように努めている。	病院の地域連携室と連携を図りながら情報共有に努め、入院時には早期退院を目指しホームでの状況を伝え、退院時には退院カンファレンスに参加され、退院後の生活のアドバイスも受けておられます。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に全ての家族様に重度化対応指針・医療意思確認書を説明し、同意を得ている。地域の関係者と連携を図り支援している。	入居時に全ての家族に重度化対応指針・医療意思確認書を説明し、同意を得ておられます。関係者と連携を図り支援をされています。看護師が職員として3名配置されており、協力医も看取り対応をして下さいますので、現在看取りケアに取り組む体制が整えられています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時・事故発生時の連絡体制を整備している。今後、さらに訓練を重ねていく。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を行い、災害時の対応方法の周知に努めている。地域との協力体制は一層の努力を要す。	法定で定められた年2回の防災訓練が行われており、災害時の対応方法の周知に努めておられます。事業継続計画(BCP)の策定もされており、食料等備蓄品も確保されています。地域としては新興住宅地ですので、昼間は居られない住民を多く協力して頂くことが難しい状況です。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様一人一人の人格を尊重した声掛け・対応に努めている。	接遇研修も行ない、利用者一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩として敬い、声掛け・対応に努めておられます。排泄・入浴時には特にプライバシーに配慮した対応に努めておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の支援の中で、本人様の自己決定・意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人の生活リズムを尊重した支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様らしい服装・身だしなみが出来るような支援に努めている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	左記のように、可能な限りお客様・職員が協力して食事準備・片付けを行っている。	調理担当の職員もおられるので、できるだけ3食手作りで提供できるよう工夫されています。行事食、誕生日食、手作りおやつも行われています。プランターで野菜も作られ、献立にも取り入れられています。食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に食事準備や片付けをされています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	左記のように、食事量・水分量が確保できるよう、本人様の状態に応じた支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎予防も含め、口腔ケアを行っている。	一人ひとりの状況に合わせて食後の口腔ケアが行われています。義歯は夜間洗浄液に入れ清潔保持されています。	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	可能な限り、トイレでの排泄・オムツ外しが出来るよう、本人様の状態に合わせた支援に努めている。	排泄チェック表を利用し、パターンを把握され、それぞれの状態に応じて声掛け・誘導・介助を行ない、最期までトイレでの排泄を目指し、支援に努めておられます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分摂取の促し・適度な運動促しにより、便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	可能な限り本人様の意向に沿った入浴支援に努めている。	週2回、午前中を中心に月～土に入浴をされています。特浴も設置され、利用者の状態変化に対応し、安全に入浴して頂かれています。拒否傾向の方もありますが、曜日を変更したり、声かけに工夫をし入浴して頂いております。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様のペース・状態に合わせて、安眠が出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で情報共有を行い、使用されている薬の種類・目的の把握に努め、服薬支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局から薬は配達され、看護師を中心に仕分けをされ、職員とダブルチェックを行い服薬支援をされています。職員間で情報共有を行い、使用されている薬の種類・目的の把握に努め、薬が変更になった場合は、変化の確認に努め、何かあれば看護師に報告、医師の指示を仰いでおられます。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の生活歴の把握に努め、お一人お一人の意向に沿った役割作り・嗜好品・楽しみ作り・気分転換に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍であり、なかなか外出が難しい状況にあるが、日常的に正面玄関を開放し、前庭にお出かけいただけるようにしている。また、いつもではないが、職員付き添いの元、お一人ずつ、あるいは数人ずつで近隣に散歩に出かけていただいている。	感染症予防に気を付け、車での外出は行っておりません。日常的に正面玄関を開放し、前庭に出て外気を感じられるようにされています。また、天気の良い日には、職員が付き添い、お一人ずつ、もしくは数人ずつで近隣に散歩に出掛けられています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所の対応として、本人様に現金を所持していただくことは行っていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される方で、家族様との電話が可能な方は、個別に携帯電話を所持していただいている。手紙を希望される方は、家族様に便箋・封筒を持参いただき、書いていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	左記のように、お客様が不快感や混乱を生じられないよう配慮した環境整備を行っている。	温度・湿度・換気にも気を付け、できるだけ家庭的な雰囲気の中過ごして頂けるよう食事の準備の音や匂いが感じて頂ける環境作りをされています。リビングは採光も良く季節に応じた壁面の飾り付も行われています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	左記のように、本人様の意向に合わせ、一人になられたり、お客様同士で過ごせるような居場所作りをしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様・家族様の意向を尊重し、馴染みのものを持参いただいたりし、本人様が居心地よく過ごせる工夫を行っている。	利用者が今まで過ごされていた部屋に近づけ居心地良く過ごして頂けるよう、本人・家族の意向を尊重し、使い慣れた物や好みの物を持ちこんで頂いておられます。ベッドの配置やエアコンの吹き出し口にも気を付け動線に配慮される等の工夫も行われています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人が、それぞれに「できること」「わかること」が可能なように配慮した環境作りを行っている。		